

サンふじ適期収穫出荷目揃い会資料

令和6年11月
JA グリーン長野営農販売部

1. 生育状況

生育は、熟期がバラついている。玉肥大についても、バラつきが大きい。園によっては、小玉傾向。気温が高く、硬度は柔らかいが澱粉の抜けが遅れているので必ず食味をしてから出荷をする。

病害では、炭疽病・輪紋病が多い。見つけ次第処理を行う。また、混んでいる園では、すす点・すす班病が見受けられる。害虫では、カイガラムシ類・シンクイムシ類・ヤガ等の被害が散見される。来年度、発生時期にあった防除等行う。

2. 収穫適期の判断・目安

① 適熟品の最低品質基準（県方針）

- 1) 糖度： 14度以上
- 2) 外観上：
 - ・お尻の地色が抜けたもの
- 3) 内観上：
 - ・澱粉臭くなく食味良好なもの
 - ・果汁が適度にあるもの

② 収穫については、各地区の方針に従う。

3. 着色向上・収穫作業

① もう一度着色向上の管理作業を徹底する。

〈着色を良くする条件〉	〈着色を悪くする条件〉
・気温が15℃以下に下がる。	・天候不良（雨天・降雨・気温）
・果実に光線が良く当たる。	・込み合い、強剪定、強樹勢
・糖度が13度以上ある。	・ナミハダニ、斑点落葉病
・土壌水分が適度である。	・系統不良、管理不徹底

② 今からの重点は、果実に光線を平均的に当てる葉つみ・玉回し作業になる。果実周辺の葉を10枚とってとにかく果面に陽を当てる。丸裸にする必要はない。

着色してから玉回しを行う。1週間程度あける。

褐斑病やハダニの影響で落葉したり、葉が傷んだ場合は、葉つみを控える。

③ 樹冠内部まで光線が入るように、支柱立て等枝の重なりがないようにもう一度見直す。

④ さらに反射シートで下枝の光線照射を補強する。古びたものは効果半減である。

⑤ 収穫の順序は着色・成熟の進み具合を見ながら実施。

1) 上枝から始め⇒2) 中間の外回り⇒3) そして下枝樹冠内部 の3段階位に分けて行う。

ただし着果が少なく樹勢が強い場合は、一部収穫をすると残りが青返ってしまうので8割位一気に収穫できるまで収穫時期を遅らせる。

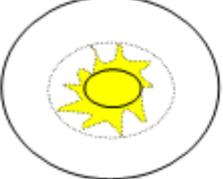
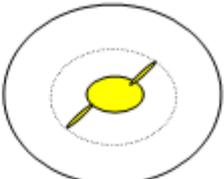
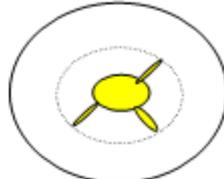
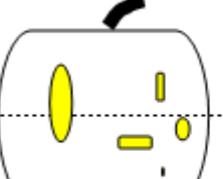
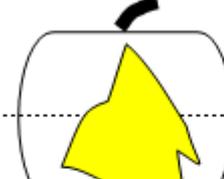
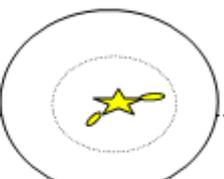
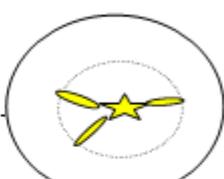
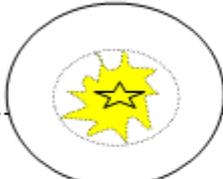
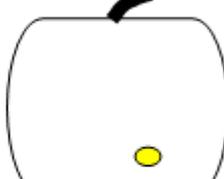
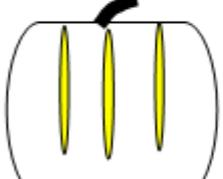
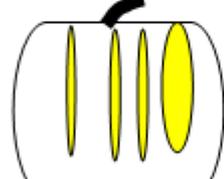
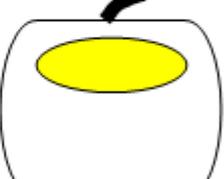
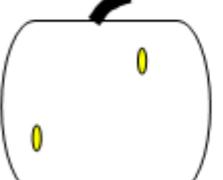
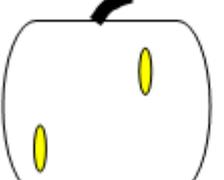
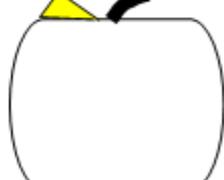
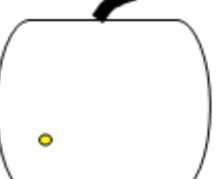
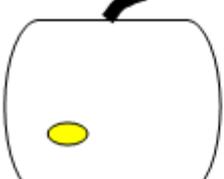
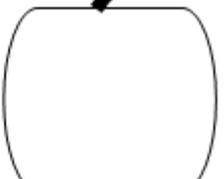
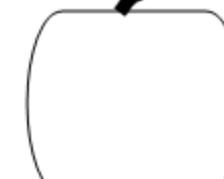
4. 収穫・出荷上の要点（お願い）

- ① 予備選果を徹底する。 ※選果の能率をアップする！
通常出荷・オープン箱（特コンテナ）・果汁（ジュース）・缶詰 に分けする。
- ② 生果用
 - ・階級⇒50玉以上を出荷する。
 - ・複数の欠点がある場合は、格下げ又は格外（共有）なる。
- ③ ふじのオープン箱・特並級（特コンテナ）の区分出荷
基本は、オープン箱出荷をお願いします。特並級（特コンテナ）は、選果を行う。
格外品の果実は、共有扱いとなる。
- ④ 小玉用
各センターの方針で出荷
- ⑤ 缶詰用
各センターの方針で出荷
- ⑥ 果汁用
 - ・腐れ、未熟、汚れ等ないもの。
- ⑦ 青み果（つるつる果・ひかり玉）は、絶対にしないようにする。果台・果台枝の確認。
- ⑧ 以上の他は、各共選所・センターの荷受け計画に従い出荷する。

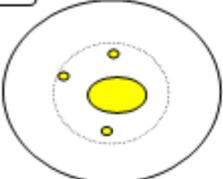
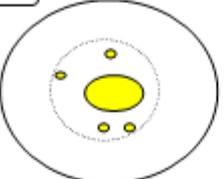
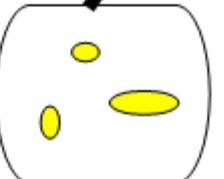
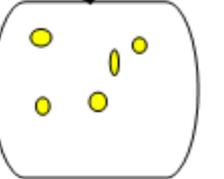
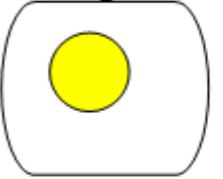
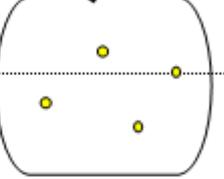
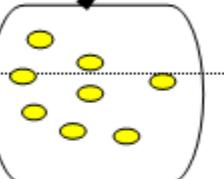
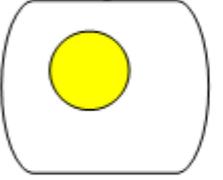
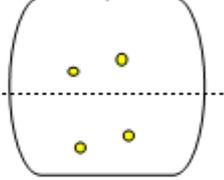
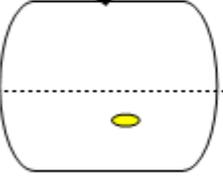
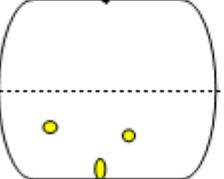
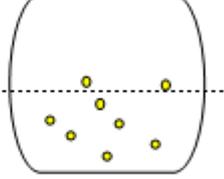
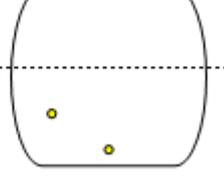
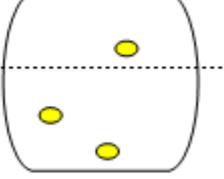
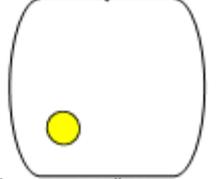
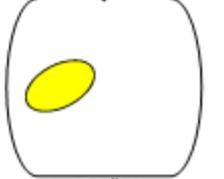
※有袋ふじは、農家手取りの安定を図るため、サンふじが本格化する前に販売する事が重要になる。
地色が抜けて黄色くなっていれば着色が悪くても出荷を行う。

11月上旬までに終了させる。集荷計画以降残る場合は各センターに連絡下さい。

りんご 出荷規格早見表 No.1

症状	生果用出荷	オープン箱出荷 特別コンテナ	症状	生果用出荷	オープン箱出荷 特別コンテナ
つるサビ	 頁上から見て、40%以内、洞から脱れてない。僅かなすじ状はよい。	 左記以上で、生食できる。頁上から見て、赤みがある。	ツル割れ	 すじ2本で軽微なもの、2mm程度は1本。横溝に、深くない。また、内側裂果ない。	 肩より内に収まっており、横2mm2ヶ、縦2mm、横溝に、深くない。また、内側裂果ない。
胴サビ	 平滑で散在している。凸凹状は、直径1cm以内。塊りは、500玉以内。	 左記以上で、生食できる。	尻割れ	 尻の中で収まっており、横2mm2本。	 尻まで上がっており、横2mm程度は4本、縦2mm程度は2本。
尻サビ	 頁下から見て、がくあし(尻)以内。胴まで脱れ出せるものは、胴サビとして判断。	 左記以上で、生食できる。	日焼け	 濃緑色で1円玉程度、腐れの心配のない。	左記に準じる
スジサビ	 細いもの3本、太いもの1本。	 左記以外で、生食できる。	オレンジ色日焼け	 表側から見て、面20%以内。横溝に深くなく、果肉がボロボロしていない。腐れの心配のない。	左記に準じる
枝スレ・キズ	 全体で2ヶ、赤道上部1ヶ、10mm程度で、生でない。	 全体で3ヶ、20mm程度で、生でない。	ゾウ鼻	 横溝に隆起していない。	 横溝に隆起している。
打撲	 小指の縦程度。補装してない。腐れの心配のない。	 人差し指の縦程度。補装してない。腐れの心配のない。	生理障害	 ビタービット、ジョナサンスポットないもの。ただし、コルクスポットは、1ヶ。	 ビタービット、ジョナサンスポットないもの。ただし、コルクスポットは、2ヶ。

りんご 出荷規格早見表 No.2

症状	生果用出荷	オープン箱出荷 特別コンテナ	症状	生果用出荷	オープン箱出荷 特別コンテナ
ほぞの黒緑色斑点	<p>秋映</p>  <p>5mm視距までびっく。</p>	<p>秋映</p>  <p>左記以上。</p>	電害（裂傷）	 <p>肉がのっており、サビ状になっている。傷が乾いており、腐れの心配がなく指で押しても陥没しない。</p>	 <p>全体の30%以内で収まっており一つ一つがタテコ大くらいで腐れの心配のない。</p>
赤色斑点（斑点）	<p>シナノG</p>  <p>斑点のみのものは、全体で5ヶ、赤道上下2ヶ。</p>	<p>シナノG</p>  <p>斑点のみのものは、多く目立つもので果肉に影響のない。</p>	電害（打撲）	 <p>マッチ棒の頭の大きさで、全体で4ヶまで。腐れの心配なく、指で押しても陥没しない。</p>	 <p>全体の30%以内で収まっており一つ一つがタテコ大くらいで腐れの心配のない。</p>
赤色斑点（混合）	<p>シナノG</p>  <p>斑点・染みを伴うものは、極端に濃くなく全体の30%以内。</p>	<p>シナノG</p>  <p>斑点・染みを伴うものは、多く目立つもので果肉に影響のない。</p>	斑点落葉病・褐斑病	 <p>直径0.5mmまで、全体で7ヶまで赤道上下3ヶまで。ただし、大きいもの半分。</p>	左記に準じる
カメムシ・セミ	 <p>カメムシ：赤道下側で1ヶまで セミ：ないもの</p>	 <p>カメムシ：赤道下側で3ヶまで セミ：赤道下側1ヶまで。</p>	黒点病	 <p>直径0.2mmまで、全体で12ヶまで赤道上下3ヶまで。ただし、大きいもの半分。</p>	左記に準じる
			黒星病	 <p>直径2mmまで、赤道下側2ヶまで</p>	 <p>直径5mmまで、全体で3ヶまで 直径8mmまで、全体で1ヶまで</p>
その他	左記に準じる		すす斑・点病	 <p>すす斑病：ないもの（灰生発す） すす点病：1円玉以内。</p>	 <p>すす斑病：ないもの（灰生発す） すす点病：500円玉以内。</p>